

CAP2018

すべての人に星空を

～CAP での「病院がプラネタリウム」の実践報告～

高橋真理子（一般社団法人 星つむぎの村）

1. はじめに

筆者は、2013 年に山梨県立科学館の天文担当からフリーランスに転職し、「星空工房アルリシャ」の名前で、出張プラネタリウムや公演、大学講義や執筆などを行っている。一方、2016 年に「星つむぎの村」という団体を再編、2017 年に一般社団法人とし、会員（村人）100 名ほど（2018 年 5 月現在）の仲間とともに、「星を介して人と人をつなぎともに幸せをつくろう」をミッションに星や宇宙の魅力を伝える活動をしている。

今回、CAP で発表させていただいたのは、「病院がプラネタリウム」というプロジェクトについてである。2014 年から本格的にはじめ、現在は「星つむぎの村」の大きなプロジェクトの一つになっている。

本稿では、その発表内容と CAP における反応、筆者が本大会に参加した感想などを述べる。

2. 発表内容

「病院がプラネタリウム」は 2014 年からスタートした「本物の星空が見られない人たちに星空を届ける」活動である[1]。この 4 年間（2018 年 3 月末まで）で、訪問箇所は 77 カ所、訪問日数は 132 日、体験者数はおよそ 7000 名となっている。行先は主に、長期入院をしている子どもたちのいる小児科、重症心身障害をもつ方たちが多くいらっしゃる病棟、難病の子どもたちや家族の支援団体、特別支援学校などである。

具体的には、4m エアドームでのプラネタリウムに加えて、個室から出られない人たちのための個室天井投影や、ストレッチャーに

のる人たちが多い場合にはホールなどでの天井投影も行っている。難病の子どもたちのためのキャンプなどの場合には、外での星空観望会も行う。



図 1 4m ドーム



図 2 ホールでの天井投影

発表では、団体紹介、プロジェクトの目的を話したのちに、2016 年に放映されたテレビ特集の短縮版（英語字幕あり）を見せ、その後、具体的な内容、観覧者からの感想に加えて、印象的なエピソードの紹介をし、今後の展望について紹介した。



図3 発表資料の1ページ

3. CAP 参加者の反応

発表後に会場で受けた質問は、「病院でやるということに抵抗を示す医療関係者はいないのか。断られたことはないのか」ということであった。病院はなかなか入っていくのが困難というイメージがあり、実際にそういう側面もあるが、当方の場合、小児科医からの紹介があったことや、多くの小児科医や医療従事者が集まる学会でプラネタリウムをみていただいた経験があり、基本的にはすべて「ロコミ」で広がっているような状態である。こちらからやらせてください、といったのはこれまでに一つだけで、他はすべて施設や団体からのオファーによって成立している。

今回の当発表は、3日目ドームセッションの最後で、その後は、場所が離れた懇親会があるということもあり、聴衆数はそう多くはなかったように思うが、発表の後、多くの国の方々が声をかけてくださった。その中身としては、「病院で行うノウハウを知りたい」「うちの国にきてもらうことはできるのか」「とても共感した。がんばって!」「英語の情報はあるか」「ドームはどこで買える?」「ファンドはどうしているの?」などであった。懇親会会場で話をしよう!と言われて、会場内でその人を見つけることができなかった、ということもあったが……。いずれにせよ、他国の

方々にとっても、稀でかつ興味深い実践であることを、実感させていただいた。あらためて、英語での情報発信（特にウェブサイト）もしていかなければ、ということも痛感した。

4. CAP に参加して

国際天文学連合が、「社会のための天文学」をミッションに掲げ、それに応じるように、一人ひとりに寄り添った天文教育、特に、ユニバーサルデザインやインクルージョンをテーマにした発表が多々あったのには、感銘を受けた。星や宇宙というユニバーサルなテーマだからこそ、という思いも確信となった。

今回のCAPのことがNHKの「シブ5時」に取り上げられた際、「病院がプラネタリウム」の紹介をしていただけたことも大変ありがたい経験であった。

初の天文教育関係の国際会議（英語での発表は20年ぶり?）で、慣れないことも多々あり、大会事務局にはご迷惑をおかけしてしまったが、参加させていただき大変有意義な時間を過ごさせていただいた。ここで、大会委員長の縣秀彦先生、発表するようとエンカレッジしてくださった渡部潤一先生、大会実施のためにご尽力いただいた皆様に、心からの感謝をお伝えします。

文 献

- [1] 高橋真理子「病院がプラネタリウム」, 2016年天文教育普及研究会年会集録,p38.



高橋真理子